昭和32年5月22日
第三種郵便物認可

入善町報

発行所　入善町役場
編集発行　責任者　竹内栄治
印刷所　池原印刷所
定価1部5円

外を見て内を省る町政を

日ごろ町づくり村づくりの第一線にあつて傘下地区民の生活力培養のため、名実ともに名誉職として、公私にわたつて限なき努力を続ける区長の真剣な悩み真実をついた叫びは明日の大入善町発展に大きく胎動した

第4回入善町区長大会

十一月二十四日午后二時から中央公民舘講堂において、町議会議員、町三役、課長の出席をえて、区長会連絡協議会総会をかねた全区長一一九名の区長大会が開かれた。

この日、開会に先立ち、日頃のお骨折りに酬ゆる意味において新しく制定された区長章は米沢町長より細田副会長に授与された。

区長会連絡協議会長岩場清八氏の大会議長としての挨拶に引続き、町長より今年の災害への協力、供米の超過についての謝意があり大田議長より議長就任の挨拶後、議会への協力要請があって議事に移った。

意見発表まえに、町長は施政方針発表を行い、本年度予算の大要と上半期の執行状況報告があり、未執行の約八千万円をよりよく円滑に運営したい旨を披歴。納税徴収率が九七%で県下第四位であるのは、各位の協力のたまものと感謝し、今後も一〇〇%納税をめざして協力を願った。特に、工場誘致には万全を期していること、通産省の調査によれば、本町が、全国第二位の工場適地であることなどの報告があった。

写真は　いまは故人となられた岩場会長の最後の司会

まじめな意見発表

工場誘致と上水道など決議

◇舟見地区
- 体育大会の会場は地区もち廻りに
- 道路舗装は完全に
- 町吏員の人事は地区的均衡を保って

◇青木地区
- 区長手当の増額を
- 各種募金の基礎数字は適確に
- 流水客土の事務費の住民負担について

◇飯野地区
- 工場誘致は計画的に
- 連絡所廃止後の外郭団体の育成を
- 県道の改良促進を
- 土地改良事業の補助率の据え置きを

◇入善地区
- 工場誘致の予定地選定は充分な計画をもって
- 道路整備一辺倒より脱却して用排水路対策も
- 流砂問題は町全体の問題である

◇新屋地区
- 区長大会は地区の議題を討議討論によるもりあがりを
- 町政策の実施は時宜を得た計画で
- 浦山新の黒部川堤防は年々憂慮すべき状態に追い込まれている

◇小摺戸地区
- 中央集権化を避けた町づくり村づくりを
- 農道新設による用地借上価格は低くすぎる
- 予約減税措置はよろこばしい限りである

◇上原地区
- 町内に耳鼻咽喉科の専問医を
- 国道八号線早期着工を

◇野中地区
- 野小の新築工事の謝意
- 野小の第二期工事にも町民各位のご理解を

これらの意見に対して町長は、いかにもすべて財政的な事情に帰一するが、上局である国県への接衝にあつては各位の熱情にこたえべく、層一層奔命致すことの旨を表明し、一議題ごとにそれぞれ具体的に陳述した。引続き大会決議を行い午后四時三〇分終了した。

決議

一、入善町の発展は工場誘致を第一と考える。
当局は工場誘致委員会を組織して、その促進に尽力されているがこれの速やかなる実現に一段と努力を致されたい。

一、町民の飲料水である地下水の水位が最近著しく低下し、将来涸渇の恐れがある。よってこれに備えて上水道設置計画を速やかに樹立されたい。

十一月二十四日
第四回入善町区長大会

12月10日〝人権デー〟です

――人権を尊重しましよう――

〝笑う門には福来たる〟一家がいつもにこにこ楽しく暮すことは本当に幸福なことで、誰しも望むところである。

お前は子どもだから、女だからといって理由なくその意見や行動が封ぜられるのでは頭底望めないことでこれがためには、誰れであらうと差別なく自由に話合いができ、正当な主張が聞き入れられるという「人の人格を尊ぶ」気持ちがお互の心の中にあってこそ始めて一家の円満が得られる。

憲法においても、このような人権の保障が強く打出され、人は誰れしも生れながら尊い値うちと人間らしい幸福な生活を営む権利を持っているものであるから国家も、すべての人もこれを尊重しなければならないことを宣明しており、また昭和二十三年十二月十日国際連合総会で決議され、全世界に布告された「世界人権宣言」においても、人権を尊重することが世界における自由、正義、平和の基礎であると明記している。

このように人の人格を尊ぶことが一家一国はもち論世界平和の基であるが、この権利は人類多年の努力により漸く今日受け得たもので、私たちはこれを守り一層立派なものに育て子孫に引継がなければならないものと考える。

このため、世界各国とも毎年十二月十日を「人権デー」として記念しているが我が国においても、十二月四日から十日までを毎年「人権週間」と定め、人権尊重の思想を一般に広めるための行事が全国的に行われてきた。

今年はその十一回目に当るが、これを機会に一層人権尊重の大切なことを深く理解し、身近な家庭より先づ福の神を招き入れたいものである。

なお、人権問題などでお困りの方は、遠慮なく次の所へご相談できます。

富山地方法務局魚津支部
竹内弥三右ェ門（入膳）
米島　一信（下飯野新）
内島　英郷（舟見）

12月のこよみ

1日（火）	映画の日
2日～21日まで	歳末援け合い運動
4日（木）～10日	人権週間
8日（火）	太平洋戦争勃発記念日　針供養
10日（木）	世界人権デー
15日（火）	年賀郵便特別取扱開始 農業協同組合記念日
22日（火）	冬至
23日（水）	皇太子誕生日
25日（金）	大正天皇21年祭 クリスマス
28日（月）	御用納め
31日	年越し　大晦日

議会だより

◇17日　厚生委員会
1　委員長（笹原委員）の辞聀に関する件
2　委員長の互選の件
3　請願三五号舟見中学校増築に関する件（実地調査後審議に決定）

。選挙
委員長選挙の結果、伊林順平氏当選
午后三時十五分閉会後全員舟見中学校視察

◇19日産業建設委員協議会
舟見支所管内視察
- 舟見山林道（六谷、中谷、奥谷、放牧場）視察
- 本年度土木耕地災害及び林業災害の復旧について協議

◇24日　総務委員会協議会
1　入善中学校工作室の件
2　地鉄バス車庫敷地買収の件（二千平米）
3　三十五年度公営住宅敷地買収の件（三千平米）
4　北電入善営業所敷地件
5　小摺戸診療所増築変更
6　地区連絡員引揚げの件

議長　大田元長氏　副議長　笹原竹松氏　当選

11月4日町議会臨時会で決る

第21回臨時会の主なる議案

◇人権擁護委員の推薦
竹内弥三右ェ門（入膳）
米島　一信（下飯野新）
再選

◇寄附採納の件
- 小摺戸小学校へ国旗掲揚塔（一〇六、九〇〇円）
寄附者　寺林　幸作
- 飯野中学校へ東芝テレビ（一三〇、〇〇〇円）
寄附者　笹島　信義
- 飯野中学へ気象観測用器具（一一〇、〇〇〇円）
寄附者　上島　市虎
- 飯野中学へセメント瓦（三五、〇〇〇円）
寄附者　西島　三郎
- 飯野中学自転車置場（一四二、八〇〇円）
寄附者　飯中生徒会
- 上原小学校へ河合ピアノ（五一二、八〇〇円）
上原小学校PTA会

◇寺田地区排水路改修に関する請願書
◇舟見中学校増改築請願
◇議長辞聀に関する件
◇議会議長選挙の件
議長に大田元長議員（椚山新47才）が当選
◇副議長辞聀に関する件
◇議会副議長選挙の件
副議長に笹原竹松議員（木ノ根39才）が当選

大田議長

笹原副議長

伊林厚生委員長

入善町風土記

……第64回……

追補　今江入植三百年祭

（2）

竹内慎一郎

今江の小坂左門氏一族の本家に当る家柄は加賀の今江で園田の姓を名乗り、その総本家が東京都文京区森川町、東大正門前に「ふたば旅舘」という旅舘を営んでおられる。十月十六日の三百年祭には八十何歳かの園田翁がはるばる東京からはせ参じられ、小坂氏と固い握手を交された。

入植当時の肝煎（村長）五兵衛の子孫である墓の木の小松啓太郎氏は「父親の代、明治の頃に今江から墓の木に移ったので、私で十四、五代になると思う。蓮如上人真筆の御名号を伝えていたが、今舟見の某家に移っている」と語られた。

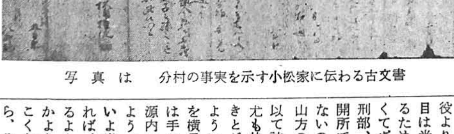
尚同家に伝わる次の古文書を両今江代表の前で発表され、分村の事実を示す何よりの証拠として認められた。

覚
新川郡今江村肝煎
五兵衛
一、白銀拾枚
五兵衛儀往古能美郡之百姓共新川郡へ引越被仰付候ニ付、微妙院様御重恩不奉忘数十年御忌日ニハ家内精進（しょうじん）仕、毎月仏供米（ぶくまい）をも指上申由、奇特（きとく）之志相聞（あいきこえ）、彼等体（てい）ニハ別而（べっして）神妙之至ニ付為御褒美右之通被下之
一、小判三両
同郡同村百姓次郎助
次郎助、是又微妙院様御重恩不奉忘数十年御忌日精進仕奇特之志ニ付為御褒美右之通被下之
右被仰出之趣、今日於御算用場申渡候得共、猶更（なおさら）子孫々迄許上仕ため如此候
以上
己酉十月十四日
杉浦権佐　印
今江村五兵衛
同村　次郎助

この文意は三月号に書いた通りで、その本文が発見された訳である。若干解説を加えると、

①白銀十枚
白銀は銀子ともいゝ、三寸五分×三寸位の四角な大銀貨で一枚（ひとひら）四十三匁あり、天正二年（三八五年前）頃には三石八斗の米が買えたという記録がある。一枚四匁三分の小型銀貨を一両銀といった。つまり白銀一枚は銀十両のことであった。（加藩貨幣録）

尚金子一枚というと大判一枚（目方約四十匁）小判で十両のことである。金一匁＝銀十六匁＝新銭一貫文で両替されたから、白銀十枚は小判で七両位に当るようである。之を米に換算すると、肝煎五兵ェは三十五～四十石、次郎助は十六・七石に相当する破格のほうびを頂いたことになる。



写真は　分村の事実を示す小松家に伝わる古文書

②杉浦権佐
享保十三年三月から延享四年五月まで十九年間郡奉行として新川郡を担当した。禄高八百石

③御算用場
加賀藩のすべての政務を掌握している所で定員三名の奉行がいた。

要約すると、享保十三年（二三一年前）の十月十四日に五兵衛、次郎助の両人が、金沢城内の藩府、御算用場に呼び出され、ほうびのことばとばく大な金銀を頂いたあと、別室で新川郡奉行杉浦権佐から右の書状を賜ったのである。

尚、序でに入植当時の実状を示す資料として越中史徴にのせられた次の文を追記すると、

「越中の舟見野を開いている二十人の百姓共、今年春借りた作食米（さくじきまい）の高程にも米がない由にて、雑穀を詰めたい旨申している由、横目役より書いてよこした。横目は米をつめる所を見届けるためだけである。米がなくてざこくを詰めるなどは刑部、源内よく吟味し、新開所で米不足の事まちがいないのであれば、雑穀でも山方のように米のつもりを以て詰めさせるように。

尤も其の方はか様の事をきとどけ、まちがいのないように申すべく、詰める所を横目まかせにしておく事は手ぬかりである。刑部、源内にもその通り申しおくよう、当年の新開所でいよいよ米不足がまちがいなければ、ざこくでも詰めさせるように、但し米ある所もかようの事をくせにし、ざこくを詰める事もあろうから、そのような事のないように申し付けよ。右の開所も二年三年と右のようにくせにせぬように、よく申し付けべく候。以上

十二月八日　御印
山本清三郎」

有線の一元放送は夢でない

八地区の有線放送網なる

町の有線放送網は、農事放送施設として著しい普及を示している。このことは各農協の農家を主体とした経営方針の熱意によるものであるが、本年度横山農協の有線放送の完備で、第一次合併の八地区の全部に及ぶことになる。

合併の年である昭和二八年、上原農協をはじめとして二九年椚山農協、三〇年入善農協、三二年は飯野、青木、新屋農協、三三年小摺戸農協がそれぞれ架設され横山農協も本部放送施設、各戸引込線も終って、この十二月十日には完工の予定となっている。未施設地区の舟見、野中も三五年度に計画の声がでている。またこの施設の急増は、農家経営の前進を示すものであるが、昭三十一年より実施された新農漁村建設計画特別助成事業として、町産業課の適切な指導による。

飯野、青木、新屋、横山の事業はこの新農村計画によってできたものである。農事放送施設として農産物の流通面、生産面、また町農協の有線広報にその活動はめざましいものがある。

各戸通話のできる
横山農協の有線放送完成

横山地区は戸数五一〇戸あるも農協の正組合員は三〇五名で、以前から架設の呼びかけがあったが、半漁半農地区のため伸び悩み遅れていた。今次漸やく農協が大きく踏みきって架設費の各戸負担基準を農家七、〇〇〇円、非農家四〇〇〇円とし、総工事費は三五〇万円（そのうち八四万円は補助金）で日本電機KKが請負ったもの。機具は最新のものでスピーカ・テレホン式にて各戸で本部の交換手によって通話ができるもので、町としては初めての試みである。

写真はスピーカテレホン器

舟見山現地調査

造林適地訪ね
ダイコン谷を探る

将来の治山計画のため、このほど十一月六日町長ほか一〇名の調査団は、早朝より造林適地ダイコン谷附近の現地視察を行った。

一行は、昼過ぎ漸やく目的地に到着。官行造林好適地としての約八〇町に及ぶゆるやかな傾斜地を足で歩き肥沃な地力を目で見た。

この地は、大正の頃谷間の水を引いて稲作を試みた程の沃野で、町有林のうち最もすぐれた植林適地であることが確認された。

（参考）

官行造林とは、昭和三十二年法律を以て保安林整備臨時措置法を強化し、重要水源地帯の緑化を計り国土を災害から守るため、国の認定を受けて国と町が契約をすれば、国は造林計画を立て伐期に達するまでの全事業を行い、伐木代の利益を国と町が折半する。

（写真は調査団一行の目的地での憩のひととき）

青少年によい環境を

このほど、青少年問題協議会では、青少年の有害な環境の浄化を目指して、十二月二十日から翌一月二十日まで、次の三期に分けて年末年始の青少年をまもる運動をくりひろげます。

第一期（12月20日～31日）
社会環境の浄化を強調
よい子の育つ明るい社会

第二期（1月1日～10日）
家庭生活の充実を
よい子の育つ明るい家庭

第三期（1月11日～20日）
〃成人の日〃の趣旨強調
自覚と誇りをもって
成人コース

もうすぐ冬休みが来ます。学校の休暇中には少年の不良化が目立つ。この四月から九月までの上半期に、保護、補導をうけた少年達九九名を数え県下八位という状況です。

その不良行為別の内訳は喫煙（一九）飲酒（三六）不良と交際（七）不良娯楽（五）金銭らん費（一）桃色遊ぎ（一〇）家出（二）盛り場をうろつく（一）婦女いたずら（二）刃物を持ち出す（二）その他（二）となっています。（入警調）

なお、保護、補導をうけた少年達について犯罪や不良化するに至った遠因を見ますと、「家庭の放任」と思われるものが最も多く、次はでき心、好奇心などとなっています。これから年末年始にかけて各家庭が忙しく、子供を放任しがちになりますからよく大人の心くばりが大切です。

また全体を通じて大部分一致することは友人の影響が大きく割出されます。

昭和三十四年度もあとわずかとなりました。

冷たい師走風とともに、盗み、サギが増える時期です。家族そろって新年を祝うため、これだけは守りましょう。

◇歳末に増える盗み、サギ

歳末には、多額の現金が取扱われますが犯罪面でも昨年の統計によると十一、十二の二ヶ月に盗み二〇件、さぎ一五件、乱暴一〇件、おどし六件と、お金や酒の上での間違が二倍近くなっています。

＜盗み＞
留守を狙う……五件
寝しずまるのを狙う…三件
学校事務所を狙う……三件
玄関を狙う……二件

＜サギ＞
不渡り手形……二件
無銭で飲食……三件
無銭で宿泊……二件
小切手ギ造……一件

◇ねらわれ易い
＜深夜に注意しましょう＞

事件は夜つくられると申しますが、朝一件、午前二件、午后三件、宵三件、夜一四件、深夜一三件となっています。

特に盗みは深夜、喧嘩は夜が大半を占めています。

◇どろぼうは、カギのない表玄関から入る

では、どろぼうは何処から入っているでしょうか。表玄関四件、横入口三件、窓三件、カギがない七件、カギの掛け忘れ一件と、私達の隙を狙って楽に出入りしています。

◇これでよいのだろうか

たしかに戸締りと貴重品やお金の始末に心をくばれば防犯の効果は目に見えて挙るでしょう。しかし大切なことは、私達がお互に注意し合い助け合うことではないでしょうか。

一人一人の防犯が部落に街に成長するとき元日の朝日のように輝く社会が建設されるのです。（入善警察署）

…明るい歳末は…
自主防犯の強化で

★押し売り新商売★
（年末年始の防犯 12月――1月）
「防犯ベルを買わねえかい」

農事メモ

今年の稲作をかえりみて

今年の気象は、平年とやや異った型で時期別に見ると苗代期の生育は大体順調に経過したが、植付後の低温により活着が遅れ特に田植後の浅水のものほど初期生育が悪かった。

五月下旬には、数日好天があり若干この時期に回復を見た。

六月は晴れの日も割合に多かったが気温はその割に上らず、平年より気温が低く短稈型に生育した。六月下旬－七月上旬の高温により生育も可成り促進され早生種の生育転換に好結果をもたらしている。

然し七月中旬から八月中旬迄の低温は中生種の出穂に悪影響を及ぼしている。八月下旬以降は割合高温晴天があり、穂孕期から出穂時の生育回復、稔実の促進等を考へこの時期に追肥したものもかなり多く、これがかへって逆効果の出た所もあった。出穂後の天候は良かったので収穫作業も平年より四－五日も早まっている。

一般に入善地区は、土壌条件が悪いと言うことで施肥量に頼った稲作が行はれているが昨年程倒伏、稔実不良、病害虫発生が無く喜ばしいことである。今少し窒素の基肥施用量を少くしても良いと考へられる。また苗代の播種量がまだまだ多い様に見受けられ、本田時の重要な窒素肥料である紫雲英の施用に当っては尚一層慎重に考へられたい。極早生種、晩生種は概して稔実も良く豊作であったが中生種の収量が最も悪かったことは出穂時の天候もさることながら施肥量、病害虫防除にも手落ちはなかったか良く反省する必要がある。（入善農改普及所）

民生委員の労をねぎらい

十五氏に感謝状おくる

11月25日、舟見鉱泉において民生委員総会が開かれ町長より次の功労者一五名に感謝状を贈り、意義ある一日を終えた。

青木源太郎、四十物弥六、魚津吉郎、島瀬久子、室吉郎（入膳）金沢勝造（上原）高沢竹次郎（青木）寺林せき、若島のぶ、野坂登一郎、柳沢秀子、小路清太郎（小摺戸）吉沢さや、白又義盛（新屋）池原清次郎（横山）

社会福祉へ寄附

◇金五万円也　岩場俊夫
◇金五千円也　木本秀次
（いずれも、亡父亡母の香典がへしの一部として）

小さい町民の役場訪問

去る三十日椚山小学校六年生中川利光君たち三十五名がひょっこり役場訪問。町政について説明された清田助役さんも勝手の違ったうれし顔。

写真は目なれぬ役場の会見の一コマ。

告知板

常住人口調べ

私たちがより良い生活を営む場合国や町の諸政策が、正確な情勢把握にもとずく、より適切なものでなければならないことは、いうまでもないことです。

そのため、国県市町村においては、たえず諸施策に必要な各般にわたる資料収集を行い、それを集約した結果にもとずき、現状分析或いは過去を知り将来への諸施策の羅針盤としております。これを一般に統計調査といっています。

この統計調査の一つとして、来る十二月三十一日現在による本町常住人口とその産業別人口を県と協力して調査することになりましたので、来年一月初旬区長さんが各世帯を訪ねられますから、統計調査の重要性を認識され結果がゆがめられたものとならないよう御協力願います。

米の配給制度変る

十一月一日から米の配給制度が改正されます。

◇配給基準量（一ヶ月当）
(イ)一般配給
・内地米精米六瓩（五、四七五瓩）
・徳用米①又は②　二瓩（二、一九〇g
(ロ)姙婦加配内地米一瓩（七七〇g）
(ハ)在宅結核患者加配
内地米一、五瓩（一、五四〇 g）

◇入院患者の外食券交付制度は廃止

長期（三〇日以上）は転入手続。短期（三〇日未満）は病院長より申請する

◇従来の内地米についての基本希望配給の区分は廃止

◇従来の徳用米③（普通外米）は割当制度を廃止。

消費者は何れの小売販売業者からでも購入できる。

広報クイズ（第二回）

（第二回正解）

ム	コ	ウ	■	エ	リ	ガ	ミ
キ	■	ソ	ハ	ン	■	ラ	マ
ヨ	ク	■	イ	■	ブ	ス	イ
ウ	■	カ	イ	セ	ン	■	キ
ソ	ウ	オ	ン	■	ヤ	キ	ン
ウ	■	ヤ	■	ウ	■	ヨ	■
■	タ	ク	セ	ン	■	シ	ヤ
ク	イ	■	ミ	■	テ	ン	ジ

正解と当選者氏名

若林光彦、脇坂　徹、愛場ふじえ（舟見）木田石太郎　山本久秀（青木）飯島初美　青井静穂（呉紡社宅）元田克美（笹原）高森千枝子（12区）柏原真紀子（呉紡）

小作料は統制額で

歳末も間近に迫り小作料の支払期に入りました。

小作料は定額金納制で、農業委員会が決定公示した範囲内で支払って下さい。

これに違反して契約を当事者間に於て締結した場合でも農業委員会の定める小作料の最高額を超えて支払らうことは許されません。

従って、現物支払や多額の小作料を支払らうことは禁じられ、統制小作料に違反した者は罰せられます。

農地法の規定による小作料の最高額は、次のとおり

一反歩当りの額　（単位　円）

等級	田	畑	等級	田	畑
1級	1.410	861	9級	930	549
2級	1.350	822	10級	870	510
3級	1.290	783	11級	810	471
4級	1.230	744	12級	750	432
5級	1.170	705	13級	690	393
6級	1.110	666	14級	630	354
7級	1.050	627	15級	570	315
8級	990	588			

漁船幹部の養成

・主催　富山県
・科目　乙種二等航海士
　　　　乙種二等機関士
・受講予定人員各四〇名
・開催地　入善町
・期　間　一月十五日より
　　　　二月二十四日まで
・申込先　町産業課
・締切　十二月二十五日

福祉年金受給者へ

福祉年金受給者が、氏名住所、支払郵便局を変更したとき、また、年金証書を破ったり、よごしたり失なったときは十日以内に町厚生係へお申し出ください。

人事異動

〇十一月一日付
民生課（総務課）　広田与三
　若島友衛
教育委員会出向（総務課）
　水野啓造
〇十一月二十四日付
建設課係長　柳沢耕一
民生課厚生係長　広田与三

自衛官採用

・陸士（一万）海士（一千）空士（二千名）
・受付期間　11、20～1、14
・一八才～二五才未満中卒
・来春一月下旬採用試験

新着図書案内

歴史の実験	五味川純平
ソ連瞥見	栗本和夫
ガンビア滞在記	庄野潤三
南極物語	近藤　等
大臣	渡辺恒雄
村と人間	野尻重雄
ふるさと	梁取三義
宇宙教室	荒　正人
動く	塩月弥学子
農村生活科学綜典	森　秀男
葡萄栽培全集	岸　光夫
蔬菜の新品種	藤井健雄
酪農の経営経済	西山太平
河	堀田善衛
紀の川	有吉佐和子
薄明のひと	円地文子

あとがき

世はまさにイデオロギー氾濫の渦中にあるとき、本紙編集委員柏原六蔵氏、区長会連絡協議会長の岩場清八氏の急逝をみる。

日ごろ、町の広報に全幅のご理解を願っていた編集子としても、師走のさむ空とともに現実の冷厳さがひとしほ身にしみるものを覚える。（曳田生）